

所沢市国土強靱化地域計画

アクションプラン

2026~2029

目次

第1章	アクションプラン 2026～2029	
1-1	策定の趣旨	1
1-2	重点事業	1
1-3	所沢市総合計画との関連性	16
第2章	進捗管理	
2-1	行動指標の達成状況	17
2-2	重点事業（2024～2027）の事務事業評価	20

第1章 アクションプラン 2026～2029

1-1 策定の趣旨

所沢市国土強靱化地域計画（以下「地域計画」という。）の着実な推進を図るため、重点的に進める事業を選定するとともに、進捗管理を行うための行動指標を設定した「所沢市国土強靱化地域計画アクションプラン」（以下「アクションプラン」という。）を定め、地域計画を推進していくものであります。

地域計画は、総合的かつ計画的な市政運営を図るために策定している「所沢市総合計画」と整合・調和を図りながら進めていくものとなります。

そこで、アクションプランは所沢市総合計画実施計画と同様、4年計画とし、毎年見直しを行うものとします。

1-2 重点事業

地域計画を進めるにあたって重点的に進める事業を重点事業として定めることとします。重点事業については、次ページのとおり整理しています。

【重点事業一覧】

◆国土強靱化地域計画アクションプラン(2026～2029)の各重点事業

No.	事業名及び概要	所管課
1	デジタル防災ハンドブック作成事業	危機管理室
2	高齢者福祉施設整備費補助事業	介護保険課
3	浄化槽整備補助事業	資源循環推進課
4	ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	市街地整備課
5	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	市街地整備課
6	所沢駅西口地区まちづくり事業	市街地整備課
7	所沢駅西口土地区画整理事業	市街地整備課
8	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	住宅政策課
9	市営住宅愛宕山団地2・3号棟施設整備事業	住宅政策課
10	北野下富線道路築造事業	道路建設課
11	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	道路建設課
12	道路のり面・擁壁維持管理計画策定事業	道路建設課・道路維持課
13	河川・水路維持管理事業	河川課
14	市民医療センター再整備事業	市民医療センター 総務課
15	下水道管渠布設事業	下水道整備課
16	雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業	下水道整備課
17	雨水管理総合計画策定事業	下水道整備課
18	下水道地震対策事業	下水道維持課
19	下水道ストックマネジメント事業	下水道維持課
20	学校トイレ改修事業	教育施設課
21	屋内運動場空調設備設置事業	教育施設課
22	小中学校校舎照明LED化事業	教育施設課
23	学校施設長寿命化改修事業 (公共施設マネジメント推進事業の一環)	教育施設課
24	指定文化財管理費等補助事業	文化財保護課
25	滝の城跡整備事業	文化財保護課

※網掛けは新規でアクションプランに追加となった重点事業です。

起きてはならない事態 1-1~4 共通に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
デジタル防災ハンドブック作成事業		R8	デジタル防災ハンドブック及び冊子版の作成
危機管理室			
【概要】 市民の防災に関する理解を深め、防災意識の高揚を図ることを目的として作成した防災ガイド・避難所マップは、平成30年度の改訂から7年が経過していることから、災害対策基本法の改正への対応など、内容を更新し、作成するものである。提供方法については、スマートフォンなどから閲覧できるよう、既に運用している多言語対応の情報配信ツールを活用するとともに、デジタル利用が困難な方々のため冊子版も作成する。		R9	
		R10	
		R11	
事業期間	令和8年度		

起きてはならない事態 6-1に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
高齢者福祉施設整備費補助事業		R8	防災・減災対策等に向けた補助制度の周知と整備事業者の募集及び補助
介護保険課			
【概要】 高齢者施設等の防災・減災対策を推進するため、施設や設備等の整備、改修などを行う事業者に対し費用の一部を補助する。 また、高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、地域密着型サービス事業所の整備を行う事業者に対し費用の一部を補助する。		R9	防災・減災対策等に向けた補助制度の周知と整備事業者の募集及び補助 計画に基づく地域密着型サービス事業所の整備
		R10	防災・減災対策等に向けた補助制度の周知と整備事業者の募集及び補助 計画に基づく地域密着型サービス事業所の整備
		R11	防災・減災対策等に向けた補助制度の周知と整備事業者の募集及び補助
事業期間	平成17年度～		

起きてはならない事態 6-4に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
浄化槽整備補助事業		R8	浄化槽転換(5基分)
資源循環推進課			
【概要】 専用住宅(主として居住を目的とした住宅)または兼用住宅(小規模小売店舗等を併設した住宅。ただし、居住部分の床面積が1/2以上であること)で単独処理浄化槽またはくみ取り便槽から高度処理型かつ環境配慮型の合併処理浄化槽に転換する者に(処理対象人員10人槽以下)工事費の一部を補助する。対象は公共下水道認可区域以外の区域等で浄化槽処理水が放流可能な場合等。		R9	浄化槽転換(5基分)
		R10	浄化槽転換(5基分)
		R11	浄化槽転換(5基分)
事業期間	平成5年度～		

起きてはならない事態 6-6に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業		R8	電線共同溝整備工事
市街地整備課			
【概要】 ファルマン通り交差点周辺の無電柱化の整備を行うことにより、県が進める銀座地区の無電柱化と合わせて、旧町地区における災害時の通行の確保、歩行者の安全で快適な空間の確保や賑わいの創出などを目指すものである。		R9	連係管整備工事
		R10	連係管整備工事
		R11	連係管整備工事 電柱抜柱工事 舗装美装化工事
事業期間	令和4年度～令和11年度		

起きてはならない事態 6-5に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	市街地整備課	R8	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県土地開発公社から買戻し ・所沢駅ふれあい通り線築造工事
【概要】 都市計画道路所沢駅ふれあい通り線は、主要地方道東京所沢線から所沢駅東口のくすのき台交差点までの延長780m、幅員20mの道路であり、鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。 このうち、県道久米所沢線から東村山第7号踏切(大踏切)の通りである市道1-525号線までの延長約200mについて、本事業により建設を進めるものである。		R9	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県土地開発公社から買戻し ・所沢駅ふれあい通り線築造工事
		R10	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県土地開発公社から買戻し ・所沢駅ふれあい通り線築造工事
		R11	<ul style="list-style-type: none"> ・埼玉県土地開発公社から買戻し ・所沢駅ふれあい通り線築造工事
事業期間	平成28年度～令和14年度		

起きてはならない事態 9-1に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
所沢駅西口地区まちづくり事業	市街地整備課	R8	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口駅前広場についての課内検討
【概要】 所沢駅西口地区については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街の創出を目指し、計画的な土地利用の誘導によるまちづくりを進めている。		R9	<ul style="list-style-type: none"> ・所沢駅西口駅前広場検討委託
		R10	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者デッキ概略設計
		R11	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者デッキ詳細設計
事業期間	平成13年度～		

起きてはならない事態 1-2に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
所沢駅西口土地区画整理事業	市街地整備課	R8	・換地処分に伴う登記 ・清算
【概要】 所沢駅西口土地区画整理事業については、本市の表玄関にふさわしい魅力と活力ある街を創出するため、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業との一体的施行を行うなど、にぎわいと良好な住環境が両立する都市基盤の整備を進めている。		R9	
		R10	
		R11	
事業期間	平成27年度～令和8年度		

起きてはならない事態 1-1・6-6に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	住宅政策課	R8	住宅、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部補助
【概要】 市内の住宅等の耐震化を図るため、民間建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部を補助するものであり、「所沢市建築物耐震改修促進計画」に基づき、市民が安全で安心できる災害に強い住環境の整備を図るものである。		R9	住宅、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部補助
		R10	住宅、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部補助
		R11	住宅、特定既存耐震不適格建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部補助
事業期間	診断：平成19年度～ 改修：平成22年度～		

起きてはならない事態 1-1に該当			
事業名及び概要	各年度	年度別事業概要	
市営住宅愛宕山団地2・3号棟施設整備事業 住宅政策課	R8	愛宕山団地2・3号棟の屋根及び外壁改修工事及び給水等設備改修工事	
【概要】 市営住宅の適切な維持管理と長寿命化を図るため、「所沢市公共施設長寿命化計画」及び「所沢市営住宅等長寿命化計画」に基づき、施設の改修を行うものである。	R9	市営住宅の屋根及び外壁改修工事	
	R10	市営住宅の屋根及び外壁改修工事	
	R11	東所沢和田団地の自動昇降機改修工事	
事業期間	令和8年度～令和11年度		

起きてはならない事態 6-5に該当			
事業名及び概要	各年度	年度別事業概要	
北野下富線道路築造事業 道路建設課	R8	4工区 用地取得 下部工事(橋脚・橋台)及び擁壁工事 上部工事(桁制作)	
【概要】 国道463号バイパス小手指ヶ原交差点から一般県道所沢堀兼狭山線下富駿河台交差点までを結ぶ、延長5,500mの道路で、これまでに延長5,142mの区間が開通している。計画的な道路の整備により市街地に流入する車両を抑制して交通渋滞の緩和を図り、早期の全線開通を目指すものである。	R9	1工区 用地取得 4工区 下部工事(橋脚・橋台)及び擁壁工事 上部工事(桁制作)	
	R10	4工区 上部工事(桁架設) 道路及び安全施設等工事	
	R11	4工区 上部工事(桁架設) 道路及び安全施設等工事	
事業期間	平成6年度～		

起きてはならない事態 6-5に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	道路建設課	R8	用地取得
【概要】 都市計画道路所沢駅ふれあい通り線は、主要地方道東京所沢線から所沢駅東口のくすのき台交差点までの延長780m、幅員20mの道路であり、鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。 このうち、市道1-525号線からくすのき台交差点までの延長262mについて、本事業により整備するものである。		R9	用地取得
		R10	用地取得
		R11	用地取得
事業期間	平成19年～		

起きてはならない事態 6-5に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
道路のり面・擁壁維持管理計画策定事業	道路建設・道路維持課	R8	のり面・擁壁の現状調査、計画策定
【概要】 所沢市が管理する市道における道路施設の内、のり面・擁壁の長寿命化や維持管理費の縮減・平準化を図るため、市内調査を行い崖地箇所の把握及び適切な維持管理方法について個別施設計画を策定し、修繕・更新等計画的な対策を行うものである。		R9	のり面・擁壁の個別診断
		R10	のり面・擁壁の修繕及び更新工事
		R11	のり面・擁壁の修繕及び更新工事
事業期間	令和8年～		

起きてはならない事態 8-6に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
河川・水路維持管理事業	河川課	R8	柳瀬川坂之下樋管設備保守点検業務委託
【概要】 台風や集中豪雨などの大雨による浸水被害を軽減するため、河川・水路の改修を行う。また、河川・水路の機能維持と河川環境の保全のため、維持管理の充実を図るものである。 柳瀬川坂之下樋管は、一級河川柳瀬川の増水時に、水路への逆流を防止するための施設であり、県と市の協定により、市が点検業務を実施するものである		R9	柳瀬川坂之下樋管設備保守点検業務委託
		R10	柳瀬川坂之下樋管設備保守点検業務委託
		R11	柳瀬川坂之下樋管設備保守点検業務委託
事業期間	昭和25年～		

起きてはならない事態 3-1に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
市民医療センター再整備事業	市民医療センター 総務課	R8	・実施設計 ・再整備工事施工者選定
【概要】 市民医療センターは、昭和51年9月に開設しており、経年により施設や設備の老朽化が進んでいることから、再整備の検討を行ってきた。令和5年度策定の再整備基本計画に基づき、現在の市民医療センターを運営しながら、現在地での建替えを行うものである。		R9	・新病院建設工事
		R10	・新病院建設工事
		R11	・新病院建設工事 ・新病院開院準備、開院 ・新病院開院後、旧病院解体及び外構工事
事業期間	令和6年度～令和13年度		

起きてはならない事態 6-4に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
下水道管渠布設事業	下水道整備課	R8	2次計画前期事業(国補) 北秋津・上安松・若松町下水道整備事業 第2一般廃棄物最終処分場周辺下水道整備事業 林1号幹線下水管増設事業
【概要】 本事業は、生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、「第2次市街化調整区域下水道整備計画」に基づく事業として、汚水排水区域の拡大を図るものである。 また、北秋津・上安松・若松町下水道整備事業のほか、環境クリーン部並びに街づくり計画部の依頼に基づき、第2一般廃棄物最終処分場周辺地区と三ヶ島工業団地周辺地区において、汚水管の整備を進めていくものである。		R9	2次計画前期事業(国補) 第2一般廃棄物最終処分場周辺下水道整備事業 林1号幹線下水管増設事業
		R10	2次計画前期事業(国補) 第2一般廃棄物最終処分場周辺下水道整備事業 林1号幹線下水管増設事業
		R11	2次計画前期事業(国補) 第2一般廃棄物最終処分場周辺下水道整備事業
事業期間	平成15年度～令和17年度		

起きてはならない事態 1-3に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業	下水道整備課	R8	市道舗装復旧工事 公園復旧工事
【概要】 本事業は、令和3年度に実施した上新井地区浸水対策検討業務委託に基づき、上新井四丁目地区について、効率的に浸水被害の軽減を図るため、既存管渠を利用し、一時的に雨水を貯留する施設(雨水調整池)を公園地下に築造するものである。		R9	
		R10	
		R11	
事業期間	令和5年度～令和8年度		

起きてはならない事態 1-3に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
雨水管理総合計画策定事業	下水道整備課	R8	雨水管理総合計画(雨水管理方針)策定(国補) 内水ハザードマップ作成(国補)
【概要】 本事業は、市街化区域における下水道(雨水)による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定め、その浸水対策を計画的に進めるため、雨水管理総合計画を策定し、浸水被害の軽減を図るものである。 浸水対策については、これまでも浸水被害が発生している地域を優先に実施しているが、近年では、従来の方針の考え方に加えて、浸水リスクを評価し、優先度の高い地域を中心に計画的な対策が求められている。		R9	雨水管理総合計画(段階的対策計画)策定(国補)
		R10	
		R11	
事業期間	令和6年度～令和9年度		

起きてはならない事態 6-4に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
下水道地震対策事業	下水道維持課	R8	詳細設計業務(柳瀬川1号幹線、国補) 地震対策工事(国補)
【概要】 本事業は、所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設している下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠及びマンホール、調整池の耐震化を進めるものである。		R9	地震対策工事(国補)
		R10	
		R11	
事業期間	平成21年度～令和9年度		

起きてはならない事態 6-4に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
下水道ストックマネジメント事業		R8	下水ポンプ場等点検業務(32か所) 下水道管路施設点検調査(44,900m) 下水道管渠更生・布設替工事(1,938.44m) 下水道施設制御盤更新工事(2か所)
下水道維持課			
【概要】 所沢市ストックマネジメント計画及び所沢市下水道ストックマネジメント実施方針に基づき、事業費の平準化を図りつつ、計画的に予防保全を中心とした維持管理を行うことにより、下水道機能を持続的に確保するものである。		R9	下水ポンプ場等点検業務(17か所) 下水道管路施設点検調査(38,100m) 下水道管渠更生・布設替工事(3,100.07m) 下水道施設制御盤更新工事(2か所)
		R10	下水ポンプ場等点検業務(26か所) 下水道管路施設点検調査(40,000m) 下水道管渠更生・布設替工事(2,452.22m) 下水道施設制御盤更新工事(2か所)
		R11	下水ポンプ場等点検業務(17か所) 下水道管路施設点検調査(55,800m) 下水道管渠更生・布設替工事 下水道施設制御盤更新工事(2か所)
事業期間	平成23年度～		

起きてはならない事態 2-4に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
学校トイレ改修事業		R8	【工事】 校舎5校(小学校5校) 【設計】 校舎6校(小学校6校)
教育施設課			
【概要】 学校のトイレについては、設備の老朽化が著しく進んでおり、給排水管の改修や環境改善に向けた洋式化やバリアフリー対策のほか、臭気対策等様々な取組が求められている。 令和3年度をもって各校1系統の改修工事につき全校完了したところであるが、引き続き校舎2系統目及び屋内運動場のトイレ改修を進めるものである。		R9	【工事】 校舎6校(小学校6校) 【設計】 校舎6校(小学校6校)
		R10	【工事】 校舎6校(小学校6校) 【設計】 校舎6校(小学校6校)
		R11	【工事】 校舎6校(小学校6校) 【設計】 校舎6校(中学校6校)
事業期間	平成26年度～		

起きてはならない事態 2-4に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
屋内運動場空調設備設置事業	教育施設課	R8	【工事】 中学校7校 【設計】 中学校8校
【概要】 本事業は、近年の記録的な猛暑を受け、児童生徒の学習環境を向上し、安心して教育に取り組める環境を整備するため、小中学校の屋内運動場に空調設備の設置を進めるものである。			【工事】 中学校8校
		R10	未定
		R11	未定
事業期間	令和7年度～		

起きてはならない事態 2-4に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
小中学校校舎照明LED化事業	教育施設課	R8	【工事】 小学校5校、中学校2校 【設計】 小学校7校、中学校3校
【概要】 本事業は、校舎に設置されている既存照明のLED化を実施し、二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の縮減を図ることにより、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。			【工事】 小学校7校、中学校3校 【設計】 小学校7校、中学校3校
		R10	【工事】 小学校7校、中学校3校 【設計】 小学校7校、中学校4校
		R11	【工事】 小学校7校、中学校4校
事業期間	令和5年度～		

起きてはならない事態 1-1に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
学校施設長寿命化改修事業 (公共施設マネジメント推進事業の一環)		R8	【工事】 安松小学校(1/2)
教育施設課			
【概要】 本事業は、建築後40年以上を経過し、経年により老朽化が進む小中学校について、「所沢市公共施設長寿命化計画」に基づき、建築後80年以上使用することを目的として、太陽光発電設備導入などの社会的要請への対応を含めた長寿命化改修を実施するものである。 令和8年度は、安松小学校の改修工事(1/2)を行うものである。 なお、本事業の工事に関しては文部科学省の学校施設環境改善交付金を活用する予定である。		R9	【工事】 安松小学校(2/2)
		R10	
		R11	
事業期間	令和5年度～		

起きてはならない事態 8-7に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
指定文化財管理費等補助事業		R8	国宝・重要文化財建造物の保存修理及び耐震診断に対する補助金の交付 【重要文化財】旧台徳院霊廟勅額門、丁子門及び御成門・小野家住宅
文化財保護課			
【概要】 所沢市文化財保護条例、所沢市文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき、市内に所在する国・県・市指定等の貴重な文化財を、良好な状態で保存・管理しこれを後世に継承するため、管理・修理等に関して補助金を交付するものである。		R9	国宝・重要文化財建造物の保存修理及び耐震診断に対する補助金の交付 【重要文化財】旧台徳院霊廟勅額門、丁子門及び御成門・小野家住宅
		R10	国宝・重要文化財建造物の保存修理及び耐震診断に対する補助金の交付 【重要文化財】旧台徳院霊廟勅額門、丁子門及び御成門・小野家住宅
		R11	国宝・重要文化財建造物の保存修理及び耐震診断に対する補助金の交付 【重要文化財】旧台徳院霊廟勅額門、丁子門及び御成門・小野家住宅
事業期間	昭和56年度～		

起きてはならない事態 8-7に該当			
事業名及び概要		各年度	年度別事業概要
滝の城跡整備事業		R8	史跡等の防災対策の推進
文化財保護課			
【概要】 郷土の貴重な文化財である「滝の城跡」を後世へ護り伝えていくため、中世城跡の本質的な価値を見出し、計画性のある長期的な整備を進める。		R9	史跡等の防災対策の推進
		R10	史跡等の防災対策の推進
		R11	史跡等の防災対策の推進
事業期間	平成19年度～		

1-3 所沢市総合計画との関連性

地域計画は、所沢市総合計画と整合・調和を図りながら進めていきます。
各重点事業と関連する所沢市総合計画実施計画の主要事業は下記のとおりです。

※事業ランク…Aは最優先事業、Bは優先事業、○は重要事業

部局	所属名	総合計画 体系コード	優先度	事務事業名称	R8事業費 [千円]
危機管理室	危機管理室	161	優先	デジタル防災ハンドブック作成事業	9,521
街づくり計画部	市街地整備課	621	優先	ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	123,030
街づくり計画部	市街地整備課	621	最優先	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業(1工区)	2,904,767
街づくり計画部	市街地整備課	621	優先	所沢駅西口地区まちづくり事業	416
街づくり計画部	市街地整備課	621	優先	所沢駅西口土地区画整理事業	972
街づくり計画部	住宅政策課	671	重要	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	1,811
街づくり計画部	住宅政策課	754	最優先	市営住宅愛宕山団地2・3号棟施設整備事業	149,820
建設部	道路建設課	631	最優先	北野下富線道路築造事業	808,565
建設部	道路建設課	631	最優先	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	25,605
建設部	道路建設課	632	最優先	道路のり面・擁壁維持管理計画策定事業	22,000
建設部	河川課	442	重要	河川・水路維持管理事業	60,752
市民医療センター	総務課	333	最優先	市民医療センター再整備事業	0
上下水道局	下水道整備課	662	優先	下水道管渠布設事業	1,594,933
上下水道局	下水道整備課	663	優先	雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業	86,000
上下水道局	下水道整備課	741	最優先	雨水管理総合計画策定事業	31,600
上下水道局	下水道維持課	663	最優先	下水道地震対策事業	421,500
上下水道局	下水道維持課	664	最優先	下水道ストックマネジメント事業	636,443
教育総務部	教育施設課	255	優先	学校トイレ改修事業	938,454
教育総務部	教育施設課	255	最優先	屋内運動場空調設備設置事業	662,741
教育総務部	教育施設課	412	最優先	小中学校校舎照明LED化事業	335,583
教育総務部	教育施設課	754	優先	学校施設長寿命化改修事業 (公共施設マネジメント推進事業の一環)	844,618
教育総務部	文化財保護課	562	重要	指定文化財管理費等補助事業	2,273
教育総務部	文化財保護課	562	重要	滝の城跡整備事業	2,970

第2章 進捗管理

地域計画の取組の進捗を把握するため、行動指標を設定したうえで、その達成度や計画全体の進み具合について、PDCAサイクル（P：計画、D：実行、C：評価、A：改善）に基づき進捗管理を行います。

なお、地域計画は総合計画と整合・調和を図ることとしていることから、総合計画に掲げている評価指標及び事業目標から地域計画に関連する指標を行動指標として設定します。

また、各重点事業の評価については、行政評価である事務事業評価で評価します。


2-1 行動指標の達成状況

◆令和6年度の行動指標（18項目）の達成状況

目標達成数	目標達成率
13	約72.2%

◆行動指標の達成状況一覧

No.	指標	単位	目標値	年数			
			実績値	R 3	R 4	R 5	R 6
1	自治会等への加入世帯数	世帯	目標値	98,100	98,200	98,300	98,400
			実績値	96,352	95,209	93,818	92,698
			達成状況	×	×	×	×
2	総合防災訓練の参加者数	人	目標値	33,100	33,600	34,100	34,600
			実績値	実施無	37,730	36,355	89
			達成状況	—	○	○	×
3	消防団員定員充足率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	91.4	88.7	85.6	81.3
			達成状況	×	×	×	×
4	ところざわほっとメール （防災カテゴリ）の利用 登録者数	人	目標値	17,000	17,000	17,000	17,000
			実績値	26,916	27,076	26,018	25,845
			達成状況	○	○	○	○
5	防災資器材の点検率	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100
			達成状況	○	○	○	○
6	災害時応援協定の締結数	%	目標値	80	83	86	89
			実績値	88	91	94	102
			達成状況	○	○	○	○
7	自主防犯団体組織数 現状値：213（H29）	団体	目標値	現状値以上			
			実績値	221	221	221	221
			達成状況	○	○	○	○

No.	指標	単位	目標値	年数			
			実績値	R 3	R 4	R 5	R 6
8	再生可能エネルギーの導入量（R5までは、「再生可能エネルギー設備の総出力」という指標	MW	目標値	40.1	41.3	42.5	50.0
			実績値	41.0	43.1	45.4	50.9
			達成状況	○	○	○	○
9	雨水流出抑制指導による施設の設置割合	%	目標値	100	100	100	100
			実績値	100	100	100	100
			達成状況	○	○	○	○
10	多言語化した行政資料の種類（「やさしい日本語」含む）	数	目標値	25	30	35	40
			実績値	65	70	78	74
			達成状況	○	○	○	○
11	都市計画道路の整備状況	%	目標値				
			実績値	72.3	72.3	72.3	73.5
			達成状況	○	○	○	○
12	幹線道路（バイパス）の整備状況 （令和6年度までに1,679mを目指す）	m	目標値				
			実績値	433	433	433	433
			達成状況	—	—	—	×
13	生活道路拡幅整備延長 （令和6年度までに4,000mを目指す）	m	目標値				
			実績値	2,027	2,844	3,444	4,246
			達成状況	—	—	—	○
14	橋りょう長寿命化修繕の箇所数	橋	目標値	1	1	1	1
			実績値	1	1	1	1
			達成状況	○	○	○	○
15	地下水の揚水量	万m ³ /年	目標値	350	350	350	350
			実績値	445	449	483	394
			達成状況	○	○	○	○
16	配水池の耐震化率	%	目標値	95.1	100	100	100
			実績値	95.1	95.1	95.1	95.1
			達成状況	×	×	×	×
17	下水道管渠の更生・布設替工事延長	m	目標値	1,588	2,308	3,018	3,728
			実績値	1,411	3,015	3,874	4,939
			達成状況	×	○	○	○
18	長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数	件	目標値	250	250	250	250
			実績値	357	418	458	446
			達成状況	○	○	○	○

◆未達成の行動指標の主な理由

No.	指標	主な理由
1	自治会等への加入世帯数	市内の総世帯数が転入や核家族化などにより年々増加している一方で、若年層を含め新規住民の加入が伸びない状況や、会員の高齢化、ライフスタイルの変化など複数の要因により自治会への加入世帯が減少している。
2	総合防災訓練の参加者数	台風10号の影響により、各地区自主防災活動訓練、関係機関等との連携訓練など、一部訓練が中止となったため。
3	消防団員定員充足率	少子高齢化の進行やサラリーマンの増加など、就業形態の変化に伴い減少傾向にあり、結果充足率の低下につながった。
1 2	幹線道路（バイパス）の整備状況（令和6年度までに1,679mを目指す）	県施行による都市計画道路飯能所沢線について、3工区の用地取得が進まなかったこと、また、接続先の東京都区間の事業化の見通しが立っていないため、4工区の事業化が難しい状況となり、整備の進捗が図れなかった。
1 6	配水池の耐震化率	西部浄水場1号配水池を除く配水池は100%耐震化完了しているが、西部浄水場1号配水池の耐震化については、西部浄水場更新工事において建て替え時に実施予定。

2-2 重点事業（2024～2027）の事務事業評価

No.	事業名及び概要	所管課
1	市営自転車駐車場照明灯LED化整備事業	防犯交通安全課
2	高齢者福祉施設整備費補助事業	介護保険課
3	公共施設太陽光発電設備設置事業	まちごとエコタウン推進課
4	浄化槽整備補助事業	資源循環推進課
5	第2一般廃棄物最終処分場整備事業	資源循環推進課
6	ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	市街地整備課
7	市営住宅宮本町団地施設整備事業	市街地整備課
8	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	建築指導課
9	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業	所沢駅西口区画整理事務所
10	所沢駅西口区地区まちづくり事業	所沢駅西口区画整理事務所
11	所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口区画整理事務所
12	北野下富線道路築造事業	道路建設課
13	河川・水路維持管理事業	河川課
14	市民医療センター再整備事業	市民医療センター 総務課
15	下水道管渠布設事業	下水道整備課
16	雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業	下水道整備課
17	下水道地震対策事業	下水道整備課
18	下水道ストックマネジメント事業	下水道維持課
19	雨水管理総合計画策定事業	下水道整備課
20	学びの環境整備事業(防犯カメラ設置分のみ)	教育施設課
21	中学校校舎内部改修(木質化)事業	教育施設課
22	学校トイレ改修事業	教育施設課
23	小中学校校舎照明LED化事業	教育施設課
24	小手指公民館太陽光発電設備設置事業	社会教育課
25	公民館施設整備事業(山口公民館太陽光発電設備設置事業のみ)	社会教育課
26	埋蔵文化財普及公開事業	文化財保護課
27	滝の城跡整備事業	文化財保護課
28	指定文化財管理費等補助事業	文化財保護課
29	埋蔵文化財調査センター施設管理事業	文化財保護課

※No. 1 ,No. 3 ,No. 7 ,No. 2 1 ,No. 2 5 については、R7 事務事業評価の対象外

◆国土強靱化地域計画アクションプラン(2024~2027)の各重点事業の事務事業評価

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)	
			会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
介護保険課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		C	年度内に事業を完了できなかったため。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を	
	-	自治事務	35,330千円	8,115千円	①事前相談のあった整備予定事業所数 ②整備完了した事業所数	事前相談のあった整備予定事業所数に対し、整備完了した事業所数の実績数	前年度に改修等の事前相談があった事業所の整備予定数に対し、施設整備を完了したことが事業の目的に合致するため、整備予定事業所数に対する整備完了事業所数の実績を目標値として設定した。				あらかじめ次年度の整備予定を把握するため、整備予定のある事業所から前年度中に申出をさせるよう令和5年度に運用を改善し、令和6年度についても引き続き行った。		11 住み続けられるまちづくりを
	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	①事業所		R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析					
	所沢市高齢者福祉施設等整備費補助金交付要綱	10,711千円	0千円	②0事業所	4事業所	2事業所							
	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R6目標	R6実績	令和6年度の本事業は、国(厚生労働省)の地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金を原資として実施するべく進めていたが、国の交付金の交付決定スケジュールが遅延し、年度内に工事を完了することができなかった。なお、本年4月30日に工事は完了している。						
	高齢者福祉施設整備費補助事業	0.54人	0人	4事業所	4事業所	2事業所							
		4,364千円	0人	2事業所	0事業所								
R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合	①2事業所										
期間	0.54人	0人	②0事業所										
H17 ~	4,407千円	0人											
資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	放流先を確保できないため申請を断念するケースもある。また、補助を受けても費用負担が少なく、現状の単独処理浄化槽でも問題なく生活出来ており、必要性を感じていないケースも多い。	R6年度に改善した点	6 安全な水とトイレを世界中に	
	重要	自治事務	6,240千円	0千円	①補助金交付 ②広報	補助金交付件数	当市の近年の申請数に照らし合わせると妥当と考えられる。				放流先が確保出来そうな世帯を洗い出し、法定検査受検案内と共にチラシを郵送することで申請を募った。		11 住み続けられるまちづくりを
	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	R5目標		R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
	循環型社会形成推進交付金交付要綱 所沢市浄化槽整備事業補助金交付要綱	6,240千円	672千円	実績	10件	0件							
	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①1件	R6目標	R6実績	合併処理浄化槽への転換の希望があっても、放流先が確保できない等、補助要件を満たせない場合がある。また、設置工事に係る使用者の負担が大きいため、申請が少なかったものとする。						
	浄化槽整備補助事業	0.70人	0人	②補助要件を満たすであろう世帯196件の案内チラシの郵送、及びHPにて周知	10件	1件							
		5,657千円	0人										
R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合											
期間	0.50人	0人											
H5 ~	4,081千円	0人											
資源循環推進課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	最終処分場建設工事については、目標としていた出来高に到達することが出来た。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを	
	最優先	自治事務	1,025,689千円	947,118千円	①最終処分場建設工事の進捗率	最終処分場建設工事の進捗率	自区内処理の原則に基づき、新たな最終処分場を整備する必要があるため、各段階における成果指標を設定した。令和5年度に最終処分場建設工事を開始したことから、事業進捗に伴う、工事の進捗率を成果指標とした。				建設工事の大部分を施工することから、工程に遅れが生じないよう、建設事業者等の関係者と密に連携を図った。		
	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	R5目標		R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、所沢市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例	4,279,808千円	4,191,163千円	実績	13.0%	13.0%							
	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	①76.96%	R6目標	R6実績	目標達成済						
	第2一般廃棄物最終処分場整備事業	5.25人	0.8人		76.0%	76.96%							
		42,425千円	0.3人										
R6正規職員人件費		R6その他職員従事割合											
期間	5.46人	0.3人											
H11 ~ R7	44,565千円	0.3人											

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
			投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
市街地整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和6年度に国費の交付決定を受けた事業費の電線共同溝整備工事はすべて完了した。無電柱化整備事業に大きな遅れはなく、引き続き交差点周辺の安全性向上に取り組んでいく。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を 11 住み続けられるまちづくりを		
	最優先	自治事務	69,126千円	56,785千円	①電線共同溝整備工事(第3期)	電線共同溝本管の施工延長	目標設定の考え方・根拠							
	ファルマン通り交差点外無電柱化整備事業	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析			
		電線共同溝の整備等に関する特別措置法、道路法、所沢市電線共同溝管理規程	61,728千円	48,046千円	電線共同溝整備工事においては、国庫補助金を活用しており、国費の内示率が低下したため、施工延長が低下しているものである。なお、電線共同溝の本管布設工事期間を5年間としていることから引き続き国費要望に努め、事業を進めることで予定期間内の完成を目指す。									
	事業の目的及び具体的な内容	ファルマン通り交差点周辺において、所沢東町地区第一種市街地再開発事業(組合施行)に伴う都市計画道路の拡幅に合わせ、ファルマン通り交差点改良事業を行った。本事業は、これらの事業と一体的に無電柱化の整備を行うことにより、県が進める銀座地区の無電柱化と合わせて、旧町地区における災害時の通行の確保、歩行者の安全で快適な空間の確保や賑わいの創出など、人を中心としたまちづくりに資するものである。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	164m	89m	R6目標値が未達成の理由・分析						
	期間	R4 ~	1.47人	0人	①電線共同溝整備工事(第3期)の実施	128m	79m							
			11,879千円	0人										
			0.65人	0人										
		5,305千円	0人											
住宅政策課(建築指導課)	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	一戸建て住宅の耐震診断及び耐震改修の補助件数は、当初の目標を達成したが、共同住宅(マンション)の耐震診断は目標を下回った。共同住宅の耐震化は、近年、停滞傾向にあり、耐震化促進への取り組みが課題となっている。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
	重要	自治事務	5,000千円	2,294千円	①我が家の耐震診断相談会での相談件数 ②補助実績棟数 ③ホームページアクセス件数	耐震診断・耐震改修補助実績件数	目標設定の考え方・根拠							
	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析			
		法律、我が家の耐震診断補助金交付要綱、我が家の耐震改修補助金交付要綱	2,000千円	1,100千円	市内の民間建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部を補助し、住宅棟の耐震化を図ることが本事業の目的となっているため、耐震診断・耐震改修費用の補助実績を指標とする。目標値は、当初予算に見込んでいる補助件数とする。									
	事業の目的及び具体的な内容	「所沢市建築物耐震改修促進計画」に基づき、市民が安全で安心した生活のできる災害に強い住環境を整備することを目的とし、市内の住宅等の耐震化を図るため、民間建築物の耐震診断及び耐震改修費用の一部を補助するものである。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	12件	3件	R6目標値が未達成の理由・分析						
	期間	H19 ~	0.40人	0人	①31件(新耐震建築物含む) ②12件・耐震診断10件(戸建て)・耐震改修2件(戸建て) ③14,784件	R6目標	R6実績	木造住宅では、目標を達成できたが、共同住宅は目標を下回った。共同住宅については所有者等の合意形成が必要なことや診断・改修ともに費用負担が大きいこと等が一因と考えられる。						
			3,232千円	0人		11件	12件							
			0.26人	0人										
		2,122千円	0人											
所沢駅西口区画整理事務所	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	予定より遅れていた事業用地の取得について、地権者との交渉により取得に至った。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを		
	最優先	自治事務	421,530千円	130,695千円	①委託件数 ②工事件数(協定工事) ③住民説明会開催数	東村山第7号踏切(大踏切)の交通遮断によるピーク時の所沢駅東西移動支障時間(分)	目標設定の考え方・根拠							
	所沢駅ふれあい通り線道路築造事業(1工区)	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析			
		都市計画法、道路法	1,221,207千円	1,212,233千円	所沢駅ふれあい通り線の整備により、東村山第7号踏切の遮断による所沢駅東西竹筒の移動の障害を無くすことを目標とするため、ピーク時の踏切の遮断による移動支障時間を成果指標とした。									
	事業の目的及び具体的な内容	都市計画道路所沢駅ふれあい通り線は、鉄道と立体交差することにより、駅周辺の慢性的な交通渋滞の解消や東西市街地の一体化を図るものである。このうち、県道久米所沢線から東村山第7号踏切(大踏切)の通りである市道1-525号線までの延長約200mについて、本事業より建設を進めるものである。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	開通後0分	51分	R6目標値が未達成の理由・分析						
	期間	R2 ~ R14	4.00人	0人	①3件 ②4件 ③3回	R6目標	R6実績	未開通のため。未整備区間の整備を推進するために、今後も継続的に用地取得と道路建設をすすめていくことで、早期の供用開始、全線開通を目指すものである。						
			32,324千円	0人		開通後0分	51分							
			4.80人	0人										
		39,178千円	0人											

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目				
所沢駅西口区画整理事務所	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	所沢駅周辺の回遊性の向上を目指し、令和6年9月の広域集客型商業施設の開業に向け、歩行者デッキを整備した。	R5年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを					
	最優先	自治事務	553,323千円	166,467千円	①委託件数	所沢駅の1日当たり平均乗降客数	所沢駅周辺の回遊性の向上を図る指標として、所沢駅の1日当たりの平均乗降客数を成果指標とした。なお、コロナ前の過去10年の乗降客数の年間伸び率は1%であるが、近年の所沢駅周辺の開発の動向を踏まえ、令和6年度の1日当たりの平均乗降客数109,930人から3%増加の113,000人を目標とする。										
	所沢駅西口地区まちづくり事業	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	②工事件数												
		都市計画法、都市再開発法、所沢市街づくり条例	841,679千円	678,860千円	③所沢駅西口まちづくり連絡協議会開催数												
		事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析										
	期間	H13 ~	3.75人	0人	実績	98,000人	101,123人	R6目標					R6実績	目標達成済	所沢駅周辺の回遊性の向上を目指し、令和6年9月の広域集客型商業施設の開業に向け、歩行者デッキを整備した。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
			30,304千円	0人	①4件	104,000人	109,930人	②6件					③1回			所沢駅とワルツ所沢間の既存歩行者デッキへの屋根の設置に向け、関係者との協議を進めていく。	所沢駅周辺の計画的な土地利用の推進と居住環境の改善を図る。
		3.45人	0人														
		28,159千円															
所沢駅西口土地区画整理事務所	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	見込んでいた保留地の処分ができ、工事等についても事業完了に向け順調に進んでいる。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを					
	優先	自治事務	2,641,244千円	1,468,079千円	①工事件数	土地区画整理事業により市街地が整備された面積	土地区画整理事業の目的として、都市基盤整備、宅地整備によるにぎわいの創出、良好な住宅市街地の整備を行うことから、土地区画整理事業全体の整備状況を成果指標とした。										
	所沢駅西口土地区画整理事業	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	②住民説明会開催数												
		都市計画法、土地区画整理法、所沢都市計画事業所沢駅西口土地区画整理事業施行に関する条例	2,167,665千円	1,571,419千円	③街づくりだより発行数												
		事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析										
	期間	H28 ~ R8	6.45人	0人	実績	0.18h	0h	R6目標					R6実績	保留地売却の契約は取り交わしたものの、使用収益の開始日が年度を跨いだため。	難航していた保留地の処分が完了し、事業を進めることができた。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
			52,122千円	0人	①12件	0.19h	0.05h	②0回					③2回			令和7年度末の換地処分に向け、事業を進めていく。	事業地区内における公共用地の割合を、事業施行前の9.25%から35.86%まで整備する。
		4.95人	0人														
		40,402千円															
道路建設課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを					
	最優先	自治事務	652,154千円	317,845千円	①用地取得率	交通渋滞緩和 市道3-5号線、及び主要地方道川越所沢線(美原町3-2944-2前)に観測点を設定。当該都市計画道路開通により交通量1割削減を達成する。	北野下富線(1工区)と松葉道北岩岡線の同時開通により交通渋滞の緩和を図るもので左記箇所に観測点を設定して、年1回・7月の第1水曜日(朝)午前7時30分~8時30分、(夕)午後5時30分~6時30分に測定する。										
	北野下富線道路築造事業	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	②工事進捗率												
		道路法、都市計画法	888,487千円	520,237千円													
		事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析										
	期間	H6 ~	4.60人	0人	実績	開通後1割削減	2532台	R6目標					R6実績	目標達成済 令和7年3月に北野下富線1工区と松葉道北岩岡線が同時開通し、開通後の令和7年7月に実施した交通量調査では前年度の交通量1割以上の削減を達成することができた。	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか	
			37,173千円	0人	①1工区99% 2工区100% 3工区99.5% 4工区98%	開通後1割削減	2620台(R6.7測定) 2171台(R7.7測定)	②1工区100% 2工区100% 3工区100% 4工区11%								早期の全線開通を目指し、引き続き用地取得と道路建設を進める。また、社会経済状況や財政事情等に応じて、事業期間や総事業費の見直しを行うと共に、地元の意見を伺いながら、整備効果を高めるものである。	市内道路の交通渋滞の緩和を図り、安心安全で良好な交通環境のために、都市計画道路の整備を推進した。
		3.07人	0人														
		25,057千円															

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)			
			会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目					
河川課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	成果指標の目標を達成している。	R6年度に改善した点	11 住み続けられるまちづくりを					
	重要	自治事務	54,157千円	48,327千円	①維持管理(清掃) ②要望・通報件数 ③改修・整備工事	要望・通報処理件数	維持管理の成果を測るには、要望の大部分を占める除草や清掃への対応件数を指標とすることが適しているため。						R6年度に改善した点	13 気候変動に具体的な対策を			
		根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合							R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析
		-	43,505千円	43,174千円													
		事業の目的及び具体的な内容	1、河川の氾濫による浸水被害等の防止を図るため、改修・整備を行う。 2、パトロールや市民等の要望により、清掃・除草および修繕等を行う。 3、地域に根付く川づくりを目指し、維持管理の一部を委託する。 4、「水辺のサポーター制度」事業の推進。	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①2,033m	250件	366件					目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
	期間			5.40人	0人	②366件	実績						250件		R6目標	R6実績	どのよう貢献したか
	S25 ~		44,075千円	44,075千円	0人	③275.6m											
									評価者	河川課長 遠山 秀仁							
市民医療センター事務部総務課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	令和5年度未策定の所沢市市民医療センター再整備基本計画をもとに、令和6年度は再整備工事設計事業者の選定を行い、年度末までに基本設計図書を完成させた。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を					
	最優先	自治事務	-	-	①再整備工事設計業務委託事業者の選定 ②再整備工事設計業務(基本設計) ③近隣住民説明会の開催	設計事業者の選定 基本設計図書の作成	再整備事業のスケジュールに沿って、令和6年度は設計業務委託契約を締結し、基本設計図書を完了させる。						R6目標値が未達成の理由・分析				
		根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
		第2次所沢市保健医療計画 所沢市市民医療センター再整備基本計画	58,715千円	45,936千円													-
		事業の目的及び具体的な内容	市民医療センターは、昭和51年9月の開設以来48年が経過し、施設や設備の老朽化が進んでいることから、施設整備の方法や担うべき機能など、再整備の検討を行ってきた。本事業は、令和5年度策定の所沢市市民医療センター再整備基本計画に基づき、現在の市民医療センターを運営しながら、現在地での建て替えを行うものである。	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①公募型プロポーザル方式により設計事業者を選定	設計事業者の選定 基本設計図書の作成	設計業務委託契約締結、 基本設計図書の完了					目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか		
	期間			3.28人	0人	②再整備工事基本設計図書の作成	実績						-		R6目標	R6実績	どのよう貢献したか
	R6 ~ R12		26,771千円	26,771千円	0人	③令和7年2月に実施(2回、41名参加)											
									評価者	総務課長 粕谷 憲之							
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成しており、成果をあげていると考えている。今後も引き続き、第2次市街化調整区域下水道整備計画に基づき、事業を計画通り進める。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を					
	最優先	自治事務	3,266,201千円	2,542,572千円	①汚水管の整備面積	整備面積	汚水管の整備面積が拡大することで目標達成の成果が把握できるので、整備面積を指標とする。						R6目標値が未達成の理由・分析				
		根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合						R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	
		下水道法、都市計画法、社会資本整備総合交付金交付要綱、第1次市街化調整区域下水道整備計画	2,254,025千円	1,751,311千円													12.74人
		事業の目的及び具体的な内容	生活環境の改善と公共用水域の水質保全を図るため、主に下水道未整備区域の汚水管整備を進める。平成15年度から「第1次市街化調整区域下水道整備計画」に基づき整備に着手し、第1期から第3期までの各5年間の整備事業は完了した。令和2年度からは第4期市街化調整区域の面整備事業を行っている。	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①7.2ha	実績						9.6ha		R6目標	R6実績	どのよう貢献したか
	期間			12.17人	1人												
	H15 ~ R17		99,332千円	99,332千円										評価者	下水道整備課長 森田 敏幸		

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
			会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	令和6年度目標に達していないが、施設の本体工事(継続費)の出来高は令和7年3月末で約40%となっており、着実に事業は進捗している。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
	最優先	自治事務	40,000千円	0千円	①事業の進捗率	事業完了に向けた各年度の進捗率	事業の進捗状況を確認することで目標達成の成果が把握できるので、進捗率を指標とする。							
	雨水貯留施設(雨水調整池)築造事業	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5目標	R5実績					R6目標値が未達成の理由・分析	
		下水道法	200,076千円	179,432千円	R6目標	R6実績							令和5年度に契約した詳細設計業務委託を令和6年度に繰越したため、工事の発注時期が遅れた。また、施設の付帯設備工事を令和7年度に発注する予定にしたため、当初のスケジュールに変更が生じたことによる。	
	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	20.0%	10.0%	R6目標値が未達成の理由・分析							
	令和3年度に実施した上新井地区浸水対策検討業務委託に基づき、上新井四丁目地区について、効率的に浸水被害の軽減を図るため、既存管渠を利用し、一時的に雨水を貯留する施設(雨水調整池)を公園地下に築造する。	0.64人	0人				①40%	70.0%					40.0%	R6目標値が未達成の理由・分析
		5,172千円	0人	R6目標	R6実績	令和5年度に契約した詳細設計業務委託を令和6年度に繰越したため、工事の発注時期が遅れた。また、施設の付帯設備工事を令和7年度に発注する予定にしたため、当初のスケジュールに変更が生じたことによる。								
		期間	0.75人	0人	R6目標値が未達成の理由・分析		R6目標値が未達成の理由・分析						人件費及び資材価格の高騰により工事費への影響が懸念されるが、計画通りの施設完成に向けて、適正な進捗管理を行っていく。	
R5 ~ R7	6,122千円	0人	R6目標値が未達成の理由・分析		R6目標値が未達成の理由・分析		下水道整備課長 森田 敏幸	どのように貢献したか	雨水貯留施設(雨水調整池)を築造することにより、雨水流出を抑制し、浸水被害の軽減に貢献している。					
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成しており、成果をあげていると考えている。今後も所沢市下水道総合地震対策計画に基づく長期計画の事業を計画通り進める。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
	最優先	自治事務	305,862千円	290,376千円	①マンホールの地震対策	各年度のマンホール・管渠の耐震化完了数	所沢市下水道総合地震対策計画に基づく長期計画(令和5年度~令和9年度)において、各年度で設定した耐震化の完了数を目標指数とする。							
	下水道地震対策事業	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5目標	R5実績					R6目標値が未達成の理由・分析	
		下水道法、都市計画法、下水道総合地震対策計画	1,049,386千円	769,669千円	R6目標	R6実績							目標達成済	
	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	①0箇所	②222m	①0箇所	②222m					R6目標値が未達成の理由・分析	
	平成21年度に策定した所沢市下水道総合地震対策計画に基づき、重要な幹線や緊急輸送道路等に埋設されている下水道施設を対象に、災害に強いライフラインを構築するため、管渠やマンホール等の耐震化を進める。令和5年度からは、長期計画に基づき事業を進めていく。	1.31人	0人										①0箇所	②1,821m
		10,586千円	0人	R6目標	R6実績	目標達成済								
		期間	1.45人	0人	R6目標値が未達成の理由・分析		R6目標値が未達成の理由・分析						評価者	重要なライフラインである下水道の耐震性能が向上することで、下水道の機能保全に貢献している。
H21 ~ R9	11,835千円	0人	R6目標値が未達成の理由・分析		R6目標値が未達成の理由・分析		下水道整備課長 森田 敏幸	どのように貢献したか	耐震化の対象路線の中には、幹線管渠であり、断面が大きく流量も多いマンホールも深く、施工困難な条件のため工法等の検討に苦慮している箇所もある。他自治体の施工実績や現場状況を確認しながら、引き続き可能な施工方法を検討していく。					
下水道維持課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	前年度に引き続き目標値達成となった。市内の改築と毎年度約30kmの管渠点検調査の双方が順調に進捗している。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
	優先	自治事務	328,892千円	195,196千円	①改築延長	改築延長	緊急度IないしIIにおける改築工事の計画及び実施延長を指標とする。							
	下水道ストックマネジメント事業	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5目標	R5実績					R6目標値が未達成の理由・分析	
		下水道法、社会資本整備総合交付金交付要綱、所沢市下水道ストックマネジメント計画、所沢市ストックマネジメント実施方針	510,619千円	393,149千円	R6目標	R6実績							目標達成済	
	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	710.0m	858.7m	R6目標	R6実績					R6目標値が未達成の理由・分析	
	平成29年度に策定した「所沢市ストックマネジメント実施方針」に基づき、予防保全を中心とした計画的な維持管理等を行い、事業費の平準化を図るとともに下水道機能を持続的に確保するものである。	4.60人	0人										①1,065m	②32,995m
		37,173千円	0人	R6目標	R6実績	目標達成済								
		期間	5.20人	0人	R6目標値が未達成の理由・分析		R6目標値が未達成の理由・分析						評価者	予防保全型の維持管理を行うことにより、下水道管の老朽化に起因する道路陥没等の事故を未然に防ぐことが可能となり、安心安全な街づくりに寄与することができる。
H23 ~	42,442千円	0人	R6目標値が未達成の理由・分析		R6目標値が未達成の理由・分析		下水道維持担当 加藤 孝雄	どのように貢献したか	所沢市下水道ストックマネジメント計画(第2期)に基づき、点検調査・修繕改築を進めていく。					

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費			成果			評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)		
			会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
下水道整備課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標を達成しており、成果をあげていると考えている。令和7年度の雨水管理総合計画の策定に向けて、事業を計画通り進める。	R6年度に改善した点	3 すべての人に健康と福祉を		
	最優先	自治事務	-	-	①事業の進捗率	事業完了に向けた各年度の進捗率	事業の進捗状況を確認することで目標達成の成果が把握できるので、進捗率を指標とする。				令和6年度より基礎調査やシナリオ設定等の事業に着手した。			
	雨水管理総合計画策定事業	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5目標	R5実績			R6目標値が未達成の理由・分析		11 住み続けられるまちづくりを	
		下水道法、都市計画法、水防法	25,586千円	23,100千円									R6目標	R6実績
	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	-	-	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
	市街化区域における下水道(雨水)による浸水対策を実施すべき区域や目標とする整備水準、施設整備の方針等の基本的な事項を定め、その浸水対策を計画的に進めるため、雨水管理総合計画を策定し、浸水被害の軽減を図る。	期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①25%	R6目標	R6実績	目標達成済			どのように貢献したか			
		R6 ~ R8	0.40人	0人	①25%						25.0%		25.0%	既設の管路や水路のデータが不足している箇所があり、浸水モデル地区の作成に苦慮している面もあるが、現地踏査などにより事業の進捗に遅れが生じないよう解決を図っていく。
		3,265千円	0人	0人	25.0%						25.0%		雨水対策にかかる施策を総合的に管理していくことにより、雨水流出を抑制し、浸水被害の軽減に貢献する。	
		評価者	下水道整備課長 森田 敏幸											
	教育施設課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠			S		計画どおりに防犯カメラを設置し、学校施設の防犯体制の推進及び安全性の向上を図ることができた。	R6年度に改善した点
最優先		自治事務	-	-	①設置工事実施件数	中学校における防犯カメラの設置校数率	設置済中学校数校/市内全中学校15校		初年度の事業であり特になし。					
学びの環境整備事業		根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み				
		学校施設整備指針(文科省)	17,300千円	12,177千円						R6目標		R6実績		どのように貢献したか
事業の目的及び具体的な内容		R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	-	-	目標達成済	特になし						
近年、学校において、児童生徒が被害者となる事件が発生しており、より一層の防犯対策強化が求められていることから、文部科学省の学校施設整備指針に基づき防犯カメラの設置を進めることで、学校施設の防犯体制の推進及び安全性の向上を図るものである。		期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①8校	R6目標	R6実績	目標達成済	防犯カメラを設置することで、学校施設の防犯体制の推進及び安全性の向上を図ることができた。					
		R6 ~	0.35人	0人	①8校				53.3%	53.3%				
		2,857千円	0人	0人	53.3%				53.3%					
		評価者	教育施設課長 市村 浩昭											
教育施設課		実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S		昨年に引き続き、計画どおりに洋式化、バリアフリー化、臭気対策等について、教育環境の整備を進めることができた。		R6年度に改善した点
	優先	自治事務	751,489千円	724,658千円	①設計実施件数 ②改修工事実施件数	市立小中学校における大便器の洋式化率	大便器の洋式化を図っているため、洋式化大便器数/全大便器数により洋式化率を算定する。		改修計画に伴い基準仕様書の見直しを行い、学校や設計施工監理を行う営繕課と連絡調整を行った。					
	学校トイレ改修事業	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R5目標	R5実績	R5目標値が未達成の理由・分析		6 安全な水とトイレを世界中に			
		-	1,094,227千円	976,206千円							R6目標		R6実績	どのように貢献したか
	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	56.0%	57.7%	目標達成済	事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み						
	家庭や公共施設のトイレの洋式化が進む中、学校トイレについては、その多くが和式で、また老朽化が進んでいることから、学校環境の向上のため、学校施設のトイレについて、洋式化、バリアフリー対策、臭気対策、給排水管の改修等を行うものである。	期間	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①15校	R6目標	R6実績	目標達成済	どのように貢献したか					
		H26 ~	1.00人	0人	①15校				59.0%		60.7%			
		8,081千円	0人	0人	59.0%				60.7%					
		評価者	教育施設課長 市村 浩昭											
	屋内運動場のトイレ改修や校舎2系統目の施工を行っているため、今まで以上に学校や営繕課との連絡調整を綿密に行うよう努める。	設備の老朽化による給排水管の改修、洋式化、バリアフリー化等の実施により学校環境の向上に貢献した。												

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
			会計	投入コスト		活動実績(R5)		成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目	
教育施設課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		S	工事対象校の8校を計画とおりに実施し、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与できた。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
	最優先	自治事務	11,284千円	9,350千円	①設計実施件数 ②工事実施件数	工事の進捗	公立小中学校は47校あり、既存照明器具をLED照明器具に改修した学校数を指標とする。	特になし						
	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	377,619千円							275,659千円		R5目標	R5実績
	小中学校校舎照明LED化事業	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.87人	0人	実績	設計15件			設計15件			
	期間	本事業は、校舎に設置されている既存照明のLED化を実施し、二酸化炭素の排出削減及び光熱費等の維持管理費の削減を図ることにより、本市が掲げるゼロカーボンシティの実現に寄与するものである。	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	7,030千円	0人		R6目標			R6実績		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	
	R5		R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	0.95人	0人	①0件	工事8件			工事8件		どのように貢献したか	
	～		7,754千円	0人	②8件	目標達成済		国庫補助金の交付決定時期が不透明である。			施設の改修工事により、学校環境の向上に貢献できた。			
								評価者	教育施設課長 市村 浩昭					
社会教育課	実施計画ランク	事業の種類別	R4予算現額	R4決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	契約が、市の財政面において、適正かつ有利に行われたことは、高評価の要因である。今後も関係各課と調整しながら、適正な価格での予算取り及び執行を進める。	R5年度に改善した点	7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに		
	最優先	自治事務	6,615千円	5,500千円	①施設改修工事費 予算額 ②施設改修工事費 契約額	施設改修工事費予算の執行額	執行率の低さを目標とすることは、予算の抑制に繋がる。低すぎる場合は予算額の設定が高いことになり、今後の予算の組み立てを考える上での問題提起の要素の一つとなる。	R4目標			R4実績		R5目標値が未達成の理由・分析	
	根拠法令	R5予算現額	R5決算額(見込み)	121,440千円										0千円
	地球温暖化対策推進法、所沢市マチごとエコタウン推進計画	事業の目的及び具体的な内容	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	0.08人	0人	R5目標	R5実績			事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み			
	小手指公民館太陽光発電設備設置事業	令和2年11月のゼロカーボンシティ宣言に基づき、一層の再生可能エネルギーの導入及び低炭素化を推進している。その一環として、災害時に現地対策支部となるまちづくりセンター(公民館)において、今回、短期予防保全計画による屋上防水シート改修に合わせ、太陽光発電設備の設置を行うことにより、平常時の再生可能エネルギー活用及び災害時における非常用電源の確保を図る。令和4年度に設計を行い、令和5年・令和6年度の2年をかけて設置するものである。	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	640千円	0人	①121,440,000円	95.0%			91.7%		目標達成済	どのように貢献したか
	期間	R4	1,051千円	0人	②111,320,000円	R6目標	95.0%						経年劣化の進む施設について、所沢市公共施設長寿命化を踏まえて今後の維持管理に努め、適正な額で予算を確保し執行する。	再生可能エネルギーの導入により低炭素化に貢献することになる。また、蓄電池を併設し、災害時における非常用電源を確保することが可能となった。
	～	R6				95.0%							社会教育課長 奥井 祥三	
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		B	実績値は目標を下回っているが、「埋文まつり」アンケートでは、参加者の86%が「昔の人々の暮らしの跡や、使っていた土器や石器などについてもっと知りたいと思う」と回答しており、事業を通じて関心や理解が図られているためB評価とした。今後も地中に眠る埋蔵文化財の魅力伝えるため、普及公開事業の情報発信を進め、子どもから高齢者まで多くの市民が埋蔵文化財に親しむ機会の創出に努めていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
	重要	自治事務	2,034千円	1,654千円	①来館者人数 ②埋文まつり参加者数 ③出張事業及び講師派遣の講座参加者数	文化財公開活用事業への参加者数	郷土の歴史や埋蔵文化財行政を周知することが当該事業の目的であるため、市民の関心や理解度を図る数値として公開活用活動参加者数を指標とする。	R5目標			R5実績		R6目標値が未達成の理由・分析	
	根拠法令	R6予算現額	R6決算額(見込み)	2,123千円										1,966千円
	文化財保護法・所沢市文化財保護条例	事業の目的及び具体的な内容	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	0.39人	1.8人	R6目標	R6実績			通常の来館者のみならず、出張授業・体験学習・講師派遣などの事業を通じて、より多くの情報発信を行った。また、「埋文まつり」にも新たな企画を実施するなど内容を充実した。			
	埋蔵文化財普及公開事業	埋蔵文化財に対する理解を深めるとともに郷土の歴史や文化財保護意識を醸成することを目的に実施する。主な内容は、①小中学校を対象とした来館授業・体験学習・出張授業等 ②施設見学 ③埋文まつりの開催 ④外部公共施設等への資料貸出・展示 ⑤講師派遣 ⑥最新発掘展示	R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	3,152千円	2.52人	①3,819人	8,600人			4,333人		事業達成に向けての現在の課題及び今後の課題解決に向けた取り組み	どのように貢献したか
	期間	0.51人	2.52人	②338人	夏休みに2日間開催している「埋文まつり」について、昨今の猛暑から秋の「埼玉県民の日」1日開催に変更したことなどから令和5年度よりも減少してしまった。今後も魅力的な普及公開活動を続け、目標値に近づけるよう努力する。						引き続き多様な普及公開事業を通じて市民等への情報発信を行い、埋蔵文化財の周知と保護への理解に努めていく。		普及公開事業により、市民等に所沢市内に残る遺跡の情報を分かりやすく伝えた。	
	～	H6	4,163千円		③514人								文化財保護担当 稲田里織	

所属名称(課)	事務事業名称	事業概要(全体)	経費				成果				評価及び次年度以降に向けた課題・取り組みなど			SDGsへの貢献(最大3つ)
			会計	投入コスト		活動実績(R5)	成果指標		総合評価	評価理由	現状の課題	事業自体が貢献する項目		
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	コロナ禍から停滞していた現地見学者数(団体)が回復しており、目標値を達成している。整備に伴う発掘調査は終了したことから、今後は現地を訪れた方が史跡により親しむことができるよう史跡整備に取り組んでいく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
	重要	自治事務	3,955千円	972千円	①滝の城跡HPアクセス件数 ②発掘調査報告書の延べ販売部数	保存会会員数+現地見学者数(団体のみ)	R6目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例 所沢市文化財保護条例	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R6実績							
	事業の目的及び具体的な内容	中世城跡の本質的な価値を見出し、計画的な長期整備を進める事により、郷土の貴重な文化財である「滝の城跡」を後世へ護り伝えることを目的に実施する。主な内容は、①保存管理計画の策定 ②史跡指定地内の遺構確認 ③危険箇所への応急的な修繕 ④中世城跡として適切な保存整備 ⑤整備基本計画に基づいた史跡整備	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
	期間	H19 ~	0.52人	7.2人	145人	81人	R6目標値が未達成の理由・分析							
			4,202千円		220人	242人	R6目標値が未達成の理由・分析							
			R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①20,055件	R6実績		目標達成済						
			0.68人	1人	②2冊	R6実績		目標達成済						
			5,550千円			R6実績		目標達成済						
						R6実績		目標達成済						
					R6実績		目標達成済							
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	目標値は達成しているが、指定文化財の種類により所有者等が負担する経費負担は大きい。所有者等と平時から連絡を密にし、補助金の適正な執行とともに、財政的な援助以外にも市ができる支援はないか、指定文化財の維持管理に努める必要がある。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
	重要	自治事務	2,273千円	1,564千円	①管理費等補助件数 ②修理等補助件数	所有者(管理者)の申請件数と交付件数の率	R6目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	所沢市文化財保護条例、所沢市文化財等保存事業費補助金等交付要綱	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R6実績							
	事業の目的及び具体的な内容	市内に所在する指定文化財を保存・管理し、これを良好な状態で後世に継承するために実施する。主な内容は、①市指定文化財の所有(管理)者が補助金の交付申請をする ②文化財等保存事業費補助金等交付要綱に基づき交付 ③実績報告により管理状況等を確認する	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
	期間	S56 ~	0.26人	0.1人	100.0%	100.0%	R6目標値が未達成の理由・分析							
			2,101千円		100.0%	100.0%	R6目標値が未達成の理由・分析							
			R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①61件	R6実績		目標達成済						
			0.26人	0.13人	②1件	R6実績		目標達成済						
			2,122千円			R6実績		目標達成済						
						R6実績		目標達成済						
					R6実績		目標達成済							
文化財保護課	実施計画ランク	事業の種類別	R5予算現額	R5決算額	項目名	指標名	目標設定の考え方・根拠		A	埋蔵文化財調査センターの開設から30年以上が経過しており、施設の老朽化による不具合が年々増加している。今後も必要箇所を見極めた上で、計画的な修繕を進めていく。	R6年度に改善した点	4 質の高い教育をみんなに		
	重要	自治事務	12,082千円	9,276千円	①施設利用者数(来館者人数) ②年間開館日数	年間の施設修繕件数	R6目標値が未達成の理由・分析							
	根拠法令	文化財保護法・埼玉県文化財保護条例・所沢市文化財保護条例	R6予算現額	R6決算額(見込み)			R6実績							
	事業の目的及び具体的な内容	来館者等の安全管理とともに、発掘調査による出土遺物など収蔵資料を永年にわたって整理・保存し、埋蔵文化財に関する各種情報を後世に伝えるとともに広く提供する施設として、安全かつ適正に管理するために、施設管理業務委託等による各種点検を着実に実施し、修繕箇所を見極めて必要な修繕を実施する。	R5正規職員人件費	R5その他職員従事割合	実績	R5目標	R5実績	R6目標値が未達成の理由・分析						
	期間	H6 ~	0.54人	0.00人	6件	6件	R6目標値が未達成の理由・分析							
			4,364千円		6件	8件	R6目標値が未達成の理由・分析							
			R6正規職員人件費	R6その他職員従事割合	①3,819人	R6実績		目標達成済						
			0.56人	0.00人	②243日	R6実績		目標達成済						
			4,571千円			R6実績		目標達成済						
						R6実績		目標達成済						
					R6実績		目標達成済							